# 〈単元指導計画〉

第3学年 <b>単元名『物と重さ』</b> (全6時間)				
	時	主な学習活動	理科授業構想表との関連 児童の気付きを促す教師の働き掛けの例	
•	第1次	物の形と重さ		
	1	身近にある様々な形や大きさの物の重さ を比較しよう		
	8 N	物は, 形を変えると重さはどのようになるのかを考え, 調べよう		
	4	物は, 形が変わっても重さは変わらない ことをまとめよう	《目指す児童の姿》② 《教師の働き掛け》ウ 本時における教師の働き掛けの例  発問 砂糖と塩は、どちらが重いでしょう。  300g 軽い 砂糖 食塩 重い	
•	第2次	物の体積と重さ		
	5	砂糖と塩の体積が同じならば, 重さはど のようになるのかを考え, 調べよう		
	6	物は, 体積が同じでも重さが違うという ことをまとめよう	塩の方が少ないのに, どうし て重いのだろう。	

# 〈授業案〉

第3学年

「砂糖と塩の体積が同じならば、重さはどのようになるのかを考え、調べよう」 5/6時

#### 本時のねらい 本時で目指す児童の姿 物の体積が同じでも、物の種類によって重さが違 物の重さに関心を持ち、体積が同じでも、種 うことを見いだし、進んで調べる。 類によって重さが違うことに疑問を持って、自 分の疑問や考えについて説明できる。 (構想表②) 準備物 □砂糖 □食塩 □透明カップ □割り箸 □台はかり 児童の気付きを促す教師の働き掛け 本時の学習活動 Х 指導上の留意点 0分 [ 物の重さは,体積を同じにして比べる必要 ★本時で目指す児童の姿に迫る活動 があることに気付く。 |発問| 2つの容器に砂糖と塩が入っています。砂糖と塩は、どちらが重いでしょう。 1回目は食塩の体積を多く、2回目は砂糖 演示実験 1回目(例) の体積を多くして考えさせる。 軽い 重い ※ 台はかりで重さを量ってみせる。 ◎ 見た目では重さを比較できないことに 240g 380g 砂糖 食塩 気付かせるために、砂糖と食塩の重さを比 較する演示実験を見せ、疑問を持たせる。 塩の方がたくさん入っているから重い。 (構想表ウ) 2回目(例) 軽い 重い ※ 食塩の方が密度が大きいので、体積が小さ くても重くなる場合がある。 ※ 200mL ビーカーに、砂糖 300g、食塩 320g を 320g 300g 砂糖 食塩 入れると、2回目の図のようになる。ビーカ 一は質量が同じものを用いる。 砂糖の方がたくさん入っているのに、どうして 軽いのだろう。 発問 どちらが重いのかを正しく知るためには、どうすればよいでしょう。 グループで、話し合いましょう。 (指示) 体積が変わると重さも変わるから、同じ体積で 比べてみないと分からない。 問題

砂糖と塩は体積が同じだと、重さはどうなるのだろうか。

15分 I 砂糖と食塩は体積が同じだと,重さはどのようになるのかを予想する。

|発問||砂糖と塩は、体積を同じにして比べると、どちらが重いでしょう。

(指示) 予想をノートに書きましょう。

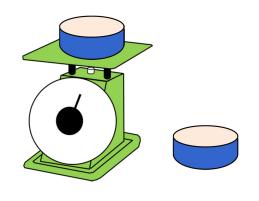


種類が違う から, 重さ が違うと思 う。 塩は、砂糖より体積が小さくても 重かったので、同じ体積だと塩の 方が重い。種類が違うから、重さ が違うと思う。

25分Ⅲ 実験で確かめる。

(指示) 砂糖と塩をすり切り1杯ずつとって、重さを量りましょう。





※ すり切りにする方法を示す。



### 【表の例】

調べる物	重さ
さとう	161g
しお	213g

(※重さは 100mL のカップを使用した場合の例)

35分Ⅳ 実験結果をまとめる。

(指示) 実験で分かったことを、ノートに書きましょう。





体積を同じにして重さを比べると、砂糖と塩では、塩の方が重いことが分かった。

※ 次時に、友達と考察を伝え合う活動を行わせる準備のために、表から分かったことを文にする話型を示すとよい。

### 【話型】

· **(体積)** を **(同じ)** にして重さを比べると, さとうとしおでは, **(しおの方が重い)** こと が分かった。

45分

### 宮城県総合教育センター

# 「みやぎ理科指導ポイント集 2011」ょり

# 単元の導入について

導入では、いろいろな重さの物を手にとって、実感を伴わせることと、重さを比べるには、台は かり等で重さをはかり、数値化して比較する必要性を見いださせることを目的とする。

#### 導入例1

重いもの順に並べよう

【水入りペットボトル 砂入りペットボトル 缶ジュース 文鎮・・・等】

- ①「実感を伴わせる」・・・・・・重さも大きさも異なるものをいくつか提示し、手にとって重さを比べさせ、重い順に並べさせる。(重さがほぼ同じものも準備し、迷わせるようにする。)
- ②「科学的に捉えさせる」・・・・手で重さを比べて決めた順番で本当によいか問いかけ、もっとはっきり確かめるためにはどうしたらよいか、考えさせる。台はかり等ではかり、数値化して比べればよいことに気付かせる。

### 導入例2

重さナンバーワングランプリ

- ①【候補探し】筆入れの中で、一番重いものを探す(手で比べる)
- ②【予選】班で一番重いものを決定(台はかりを使う)
- ③【決勝戦】クラスでナンバーワンを決定(班で測定した数値を発表して比較)

## 物の形を変えたときの重さについて

#### 【実験】ねん土の形を変えて重さを調べよう

物の形を変えても、重さは同じであるという認識をはっきりと持っている児童は少ないのではないだろうか。むしろ、形を極端に変えると重さが変わると思っている児童が多いかもしれない。また、形を変えても「たぶん同じはずだ」という認識があるが、「本当かな?」という疑問が生じ、「確かめてみよう」という意欲が生まれやすいところであろう。それをうまく引き出したい。

### 発問例と予想される児童の反応例(※は留意点)

- ○ねん土の形を変えると重さはどうなるのかな?一番重い形はあるのかな?
  - ・形を変えても重さは変わらないと思うよ
  - たぶん・・・変わらないよ
  - ・平らにすると軽くなる?



- ○では、いろいろな形を作って重さを調べてみましょう。
  - ※予想や結果を書かせた上で、結論についても自分の言葉でまとめさせたい。